



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL <https://www.srt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 光晴 TEL 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,190	△3.8	414	△12.7	376	△12.5	253	△12.0
2019年3月期第2四半期	8,517	9.9	474	63.7	430	78.2	287	84.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 225百万円 (△25.5%) 2019年3月期第2四半期 302百万円 (41.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	45.41	44.75
2019年3月期第2四半期	51.58	51.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	19,795	8,142	40.4	1,433.07
2019年3月期	19,377	8,057	40.9	1,421.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,999百万円 2019年3月期 7,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期（予想）			—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	△4.7	940	△4.1	850	△3.8	520	△11.4	93.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	6,006,373株	2019年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	424,252株	2019年3月期	424,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,582,121株	2019年3月期2Q	5,582,249株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本の経済状況は、輸出を中心に弱さが続いているものの企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復いたしました。世界経済は、緩やかに回復しているものの、引き続き通商問題、中国経済の減速の影響等により先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、国内貨物については、消費関連は堅調に推移しましたが、生産関連はこれまで好調であった一般機械が足踏みしたほか、自動車・自動車部品、鉄鋼、化学工業品などが低調に推移いたしました。国際貨物は米中貿易摩擦や中国経済減速などの影響により低調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当グループは、3ヵ年の中期経営計画（2017年4月～2020年3月）の達成に向けて、ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

しかしながら、半導体製造装置及び航空貨物の取扱いが減少したことに加え、前年まで業界の活況が続いていた工作機械の取扱いもピークアウトしたことにより、売上高、営業利益ともに減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高81億90百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益4億14百万円（前年同期比12.7%減）、経常利益3億76百万円（前年同期比12.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億53百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①梱包事業部門

半導体製造装置及び航空貨物の取扱いが減少したことに加え、業界の活況が続いていた工作機械の取扱いもピークアウトしたことにより、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高57億27百万円（前年同期比9.0%減）、セグメント利益6億17百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

②運輸事業部門

医療機器の取扱いが増加したことにより、売上高は増加いたしました。

セグメント利益につきましては、ドライバー不足により社有トラックの稼働率が低下したことにより、減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高12億79百万円（前年同期比12.7%増）、セグメント利益46百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

③倉庫事業部門

前期に導入した自動ロボット制御ピッキングシステムの設備使用料収入の増加等により売上高及びセグメント利益は増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高10億40百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益2億21百万円（前年同期比39.8%増）となりました。

④賃貸ビル事業部門

本社ビルの稼働率が高水準で推移したことにより、売上高は概ね前年同期と同水準で推移いたしました。

セグメント利益につきましては、定期修繕費の増加により減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億42百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益49百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産197億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億18百万円の増加となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、61億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加11億50百万円、受取手形及び売掛金の減少8億35百万円によるものであります。

固定資産につきましては、136億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少1億42百万円、機械装置及び運搬具の減少50百万円及びリース資産の減少80百万円及び建設仮勘定の増加4億69百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の減少48百万円、繰延税金資産の減少37百万円によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、116億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億33百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、48億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億17百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少93百万円、短期借入金の増加5億16百万円、未払法人税等の減少45百万円、賞与引当金の減少72百万円によるものであります。

固定負債につきましては、67億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加1億42百万円、リース債務の減少1億6百万円によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、81億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加97百万円、その他有価証券評価差額金の減少18百万円及び新株予約権の増加16百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の40.9%から40.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日公表の業績予想から変更はありません。また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,489,876	2,640,383
受取手形及び売掛金	3,976,726	3,141,568
原材料及び貯蔵品	149,757	158,631
その他	208,554	203,120
貸倒引当金	△5,800	△4,500
流動資産合計	5,819,114	6,139,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,966,901	6,824,615
機械装置及び運搬具(純額)	572,891	522,058
土地	2,352,100	2,357,179
リース資産(純額)	1,642,360	1,562,109
建設仮勘定	52,087	521,768
その他(純額)	45,413	41,916
有形固定資産合計	11,631,754	11,829,648
無形固定資産		
ソフトウェア	22,547	20,259
その他	827	757
無形固定資産合計	23,374	21,017
投資その他の資産		
投資有価証券	511,358	462,829
破産更生債権等	7,197	7,037
繰延税金資産	755,985	718,272
その他	636,130	624,817
貸倒引当金	△7,197	△7,037
投資その他の資産合計	1,903,475	1,805,918
固定資産合計	13,558,604	13,656,585
資産合計	19,377,718	19,795,789

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	762,403	668,953
短期借入金	2,106,030	2,622,452
リース債務	273,895	276,474
未払法人税等	173,580	127,629
賞与引当金	381,258	308,880
その他	847,582	858,065
流動負債合計	4,544,749	4,862,455
固定負債		
長期借入金	3,770,410	3,912,506
リース債務	1,405,356	1,299,203
退職給付に係る負債	871,641	863,244
資産除去債務	433,061	439,844
長期預り金	212,487	206,291
金利スワップ	82,287	69,521
固定負債合計	6,775,244	6,790,611
負債合計	11,319,993	11,653,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	3,121,805	3,219,013
自己株式	△208,823	△208,823
株主資本合計	7,877,977	7,975,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	167,942	149,337
繰延ヘッジ損益	△57,090	△48,233
為替換算調整勘定	△14,374	△39,147
退職給付に係る調整累計額	△41,802	△37,585
その他の包括利益累計額合計	54,674	24,370
新株予約権	25,009	41,247
非支配株主持分	100,063	101,919
純資産合計	8,057,725	8,142,723
負債純資産合計	19,377,718	19,795,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	8,517,792	8,190,901
売上原価	6,857,631	6,598,768
売上総利益	1,660,161	1,592,133
販売費及び一般管理費		
販売費	554,556	553,891
一般管理費	630,698	623,693
販売費及び一般管理費合計	1,185,255	1,177,584
営業利益	474,906	414,549
営業外収益		
受取利息	174	1,000
受取配当金	7,901	7,213
為替差益	—	867
受取保険金	4,956	4,749
その他	1,923	2,584
営業外収益合計	14,955	16,415
営業外費用		
支払利息	57,474	52,762
災害復旧費用	—	1,791
その他	2,266	4
営業外費用合計	59,740	54,558
経常利益	430,121	376,405
特別利益		
投資有価証券売却益	—	414
特別利益合計	—	414
特別損失		
投資有価証券売却損	—	2,687
特別損失合計	—	2,687
税金等調整前四半期純利益	430,121	374,132
法人税、住民税及び事業税	106,046	82,872
法人税等調整額	36,965	35,113
法人税等合計	143,012	117,985
四半期純利益	287,108	256,147
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△830	2,639
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,939	253,507

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	287,108	256,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,765	△19,388
繰延ヘッジ損益	14,780	8,856
為替換算調整勘定	△553	△24,773
退職給付に係る調整額	4,719	4,216
その他の包括利益合計	15,180	△31,088
四半期包括利益	302,289	225,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	302,807	223,203
非支配株主に係る四半期包括利益	△517	1,855

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,296,181	1,135,027	946,070	140,513	8,517,792	8,517,792
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,304	—	—	2,304	2,304
計	6,296,181	1,137,332	946,070	140,513	8,520,097	8,520,097
セグメント利益	694,570	67,005	158,364	56,637	976,579	976,579

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	976,579
セグメント間取引消去	167
全社費用(注)	△501,840
四半期連結損益計算書の営業利益	474,906

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,727,789	1,279,278	1,040,968	142,865	8,190,901	8,190,901
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,167	—	—	2,167	2,167
計	5,727,789	1,281,446	1,040,968	142,865	8,193,069	8,193,069
セグメント利益	617,522	46,605	221,436	49,234	934,798	934,798

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	934,798
セグメント間取引消去	163
全社費用(注)	△520,413
四半期連結損益計算書の営業利益	414,549

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当社における2019年9月9日の台風15号の影響に関しましては、人的被害は無く、建物や設備等の一部被害が出ておりますが、稼働に大きな影響は出ておりません。被害を受けたことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、「災害復旧費用」として事業資産の修繕費用等1,791千円を営業外費用に計上しております。現時点で合理的に見積もることが困難な費用等については、「災害復旧費用」には含めていない為、当該計上額は、今後変動する可能性があります。なお、損害額の一部について保険が適用できる見込みであります。

(重要な後発事象)

当社における2019年10月12日の台風19号の影響に関しましては、人的被害は無く、建物や設備等の一部被害が出ておりますが、稼働に大きな影響は出ておりません。現在、被害を受けた建物や設備等の損害額について調査中であります。なお、損害額の一部について保険が適用できる見込みであります。